

地域子育てネットワークだより

令和3年10月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

E-MAIL : danjokatei@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2798)



誰もが安心して子育てできる社会へ

子どもを取り巻く環境への不安が増大している今日、より一層の**子どもの安全確保**のためには、**家庭・学校での安全対策**はもとより、それらを取り巻く**地域が一体となって子どもを見守って**いかなければなりません。

県では**子育て応援ネット事業**として、17の兵庫県地域女性団体ネットワーク会議の構成団体や、自治会、青少年関係団体、子ども会、PTA等の**地域団体がネットワークを組み**、子育て家庭への見守り、声かけ、子育て相談、イベント、登下校時のパトロールなどを行う**子育て家庭応援運動**を展開しています。

また、子育て家庭応援推進員や活動に賛同するメンバーは、子育て家庭の**SOS**を**キャッチし**、市町やこども家庭センター、民生・児童委員、警察署等の関係機関へ連絡する取り組みを行っています。

児童虐待防止24時間ホットライン

中央こども家庭センター	078-921-9119
尼崎こども家庭センター	06-6494-0505
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
加東こども家庭センター	0795-48-9300
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター	078-382-2525
(平日：8時45分～17時30分)	
明石こどもセンター	078-918-5726
児童相談所虐待対応ダイヤル	189 (いちはやく)
(お近くの児童相談所へつながります)	



【問い合わせ先】兵庫県男女家庭課 TEL : 078-362-4185

兵庫県が

"スマホ婚活" やってます！

スマートフォンから 24 時間いつでもお見合い相手の検索、プロフィール閲覧、お見合い申し込みが可能です！まずは会員登録から！

【対象】20歳以上の独身でスマートフォンをお持ちの方

【料金】年5,000円(20代は3,000円)

☆詳細は「ひょうご 出会い」 <https://www.msc-hyogo.jp>



兵庫県では、少子化対策の一環として、「ひょうご出会い支援事業」に取り組み、現在では**県内10カ所**と東京の「**出会いサポートセンター**」において、結婚を希望する20歳以上の独身男女を対象に、**出会いの場づくりのお手伝い**をしています。

(問合わせ先)

ひょうご出会いサポートセンター TEL : 078-891-7415 FAX : 078-381-6829

子育て応援ネットの活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する
「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します

西宮市では、地区社会福祉協議会が主体となり、民生委員・児童委員等と連携しながら、子育て中の親が子どもと一緒に気軽に集い、仲間づくりができる子育て地域サロンを市内38か所で開設しています。

コロナ禍で思うように活動ができない状況ではありますが、開催しているサロンは感染症対策をしながら内容を変更したり、定員を設けたりと工夫して活動をされています。

そのため、西宮市子育て地域サロンネットワークでは西宮市と共催で、子育て支援活動者を対象とした**スキルアップ**や**サロン同士の交流**を目的に**研修会・情報交換会を開催**し、サロン活動者のつながりづくりやサロン活動の充実を図っています。

また、サロン活動者と市内の子育て関係者とのネットワークの強化にも力を入れています。



西宮市子育て地域サロンネットワーク
代表 水田 宗人
(社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会)

まちの子育てひろばの紹介

たつの市 「ツインラビット」

ツインラビットは、**双子や三つ子などの多胎児**の妊娠・出産・育児の悩みや喜びを共有し、心の拠り所になる場として2005年に発足。たつの市外の近隣の市町村から参加の親子もおられます。

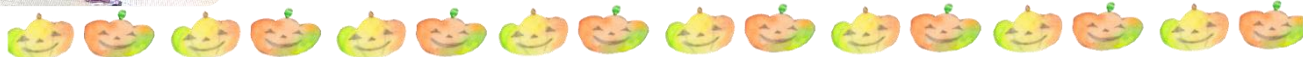
多胎児の妊娠・出産・育児は想像以上に不安で大変なものです。経験者ならではの悩みや不安、負担、孤立を少しでも軽減し合えたらと月に1回集まり、交流しています。

主な活動内容は、二人乗りベビーカー等の**育児用品や衣類の交換会**、**多胎講座**、**育児相談会**、**未就園児ママのリフレッシュタイム**、**クリスマス会**、**ふたご通信の発行**等。



コロナ禍ですが、イベント時には密にならないよう年齢別に時差開催をし、消毒・換気等出来る限りの感染対策を取りながら活動を続けています。今後も、親子のリフレッシュの場として活動を続けていきたいと思いをしています。

ツインラビット 代表 辻尾 めぐみ



連載

第153回



ワクチン接種、あとひと踏ん張り



県立こども病院名誉院長 中村 肇

最近、変異株の流行とともに、子どもの新型コロナウイルス感染者が増えてきました。学級閉鎖や休校という措置がとられている学校もあります。

その感染経路をたどると、家庭での大人から子どもへの感染が主なようです。

わが国においても、新型コロナワクチンの接種が進み、高齢者では80%以上が2回接種済みですが、中年層や若年層への接種が遅れています。

子どもを新型コロナウイルス感染から守るためには、**周囲の成人(養育者、子どもに関わる業務従事者等)へのワクチン接種が急がれます。**

若年者では副反応が強いので、健康な子どもへのワクチン接種による**メリット(自分の感染予防と他者への拡大防止)**と**デメリット(副反応)**を、**子ども親も十分理解した上で**受けてください。クラブ活動などで、自分のクラス以外の子どもとの接触機会が多い子どもには、ワクチン接種をとくにお勧めします。